

# 平成32年度入試制度の概要

## 第一次募集の概要

### 出願

- 出願時期は2月
- すべての受験生が希望する高校に出願し、受験することができます。

### 本試験

- 検査日は3月上旬
- 検査内容
  - 学力検査（共通問題）
    - ・ 国語，数学，社会，英語，理科を全員共通で実施します。
  - 面接，実技，作文
    - ・ 学校によっては，面接や実技や作文を実施します。  
※実技については，体育や美術に関する学科で実施します。
    - ・ 面接，実技，作文を実施する場合，検査日が2日間になる場合があります。

### 追試験

- やむを得ない事由で，本試験を受験できなかった受験生を対象に実施します。
- 検査内容は，本試験に準じます。

### 合否判定

- 共通選抜と特色選抜の2通りの選抜方法で合否を判定します。
- 最初の選抜方法で合格圏内に入らなかった受験生を対象に，もう一方の選抜方法で合否を判定します。  
→ 受験生が共通選抜か特色選抜かを選ぶ必要はありません。
- 共通選抜と特色選抜の選抜順序については，各高校が定めます。

### 合格発表

## 第二次募集の概要

※第一次募集の合格者が定員に満たない学校で実施します。

### 出願

- 出願時期は第一次募集の合格発表後
- ※第一次募集で合格した場合は，出願できません。

### 検査内容

- 面接，実技，作文，学力検査のいずれか1つ以上を実施する場合があります。
- 学力検査を実施する場合は，国語，数学，英語から1教科以上実施します。

### 選抜方法

- 調査書のみ，又は調査書に面接，実技，作文，学力検査のうち，実施した検査を加えて総合的に選抜します。

## 共通選抜と特色選抜について

### 共通選抜

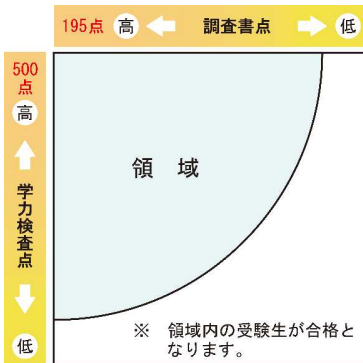
学力検査点と調査書点の相関図を基に、その両方の満点により近い者を上位として、上位の者から審査し、共通選抜の募集人数分を選抜します。

■学力検査点（500点満点）

国語、数学、社会、英語、理科の学力検査点（各教科100点満点）の合計点

■調査書点（195点満点）

国語、数学、社会、英語、理科については、3年間の評定の合計  
音楽、美術、保健体育、技術家庭については、3年間の評定の合計×2倍 } 合計 195点



■相関図での学力検査点と調査書点の比重は、次の5つの組合せの中から、各高校が学校・学科ごとに設定します。

	学力検査重視	同等	調査書重視		
学力検査：調査書	7：3	6：4	5：5	4：6	3：7

■体育や美術に関する学科では、実技の評価を選抜資料に加える場合があります。

### 特色選抜

特色選抜では、学力検査点、調査書点及び面接、実技、作文の得点を合計し、その合計点を基に、調査書の記載事項も用いて総合的に審査し、選抜します。なお、特色選抜の審査対象者は、特色選抜の選抜人数の120%から200%までの間で、各高校が定めます。

■学力検査点

国語、数学、社会、英語、理科の学力検査点の得点を、各高校が教科ごとに定めた倍率によって算出し、合計します。

【算出方法】

「各教科の得点×倍率」の計

■調査書点

各教科・各学年の評定を、各高校が定めた倍率を用いて算出します。

【算出方法】

「各教科の『各学年の評定×倍率』」の合計

■面接・実技・作文

面接、実技、作文の配点については、各高校が定めます。

## 連携型選抜について

連携型高等学校（志津川高等学校）は、連携型中学校（南三陸町立志津川中学校、同歌津中学校）からの志願者を対象とした連携型選抜を実施します。検査内容は第一次募集に準じます。

○出願資格

連携型選抜に出願できる者は、次の条件を全て満たし、連携型中学校の校長が認めた者とする。

- 1 平成32年3月に連携型中学校を卒業する見込みの者であること。
- 2 連携型高等学校、学科を志願する動機や理由が明白で適切であること。
- 3 連携型高等学校、学科に対する適性及び興味・関心を有すること。
- 4 中学校生活を意欲的に送り、入学後も学校生活を意欲的に送る意志があること。

## 社会人特別選抜について

定時制課程において実施する学校があります。